

オ二波闘争貫徹 動労千葉の闘魂を示せ



80.1.17
No. 326

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
鉄電二二五八・九(公衆電話三三二七二〇七)

反処分第二波、第二次反合・運転保安闘争は2日目に突入した。すでに闘争突入第一日目に
して、内房線を中心とする全乗務員の減産行動は、各列車10分前後の遅延を現出し確実に当局
に打撃を与えている。そして、地上勤務者の減産行動も着実に打ち込まれている。これはなに
よりも、全組合員の不当処分と局報号外に表われた選別的に不当介入に対する怒りの爆発である。
当局の選別的に不当介入弾劾、当局・「本部」反動暴力集団の結託した動労千葉組織破壊攻撃を
粉碎すべくより闘いを強化しよう。闘いの爆発をもって当局・「本部」反動暴力集団に知らし
めよう！・・・・いかなる弾圧、処分攻撃をもつてしても動労千葉の団結は不滅であるよ！

当局、線路改善の具体策なし

本号では、第二波闘争前段に行われた動労千葉
申第2号にもとづく交渉経緯を記載する。とりわ
けこの交渉であらわになった当局の運転保安問題
の軽視と展望のなさは度し難いものである。いま
や、われわれが反合運転保安確立を目指して、闘
いに決起する時機であることを逆に証明したとい
える。

交渉は、1月10日施設部長、保線課長以下が出
席し、冒頭、当局側より、申2号「運転保安の確
保について将来展望と当面する施策を明確にせよ」
との申入れの回答がされた。

「今日まで管内の線路改善については鋭意努力
をしてきている。若干だが良くなってきていると
考えている。新線切換等の計画と通常の保守のパ
ランスをどうにかするか課題であり、内房は徐行
延長が長いので手を加えているが目立たない。今
後昼間々合を利用し、随時改善する方向で努力す
る」という全く通りいっぺんの回答であり、何ら
具体的線路改善の施策すら提示できなかったであ
った。これに対し、組合側より、①今日の線路の悪
化は合理化によるものであり、要員のみにても現
行保守能力で線路の抜本的改善が計れるのか。
②当局は若干でも線路がよくなったというが、内
房線の現実は、徐行箇所が延長が22kmもありより
悪化をたどっている。と追及した。当局は、確か
に他の線区と比して内房線は悪い。本年度は本社
に上申し内房線を中心に改善したい。と答えるの
みで、「線路荒廃」を認めながら具体的な線路改
善計画については最後まで提示できなかったのだ
である。

全組合員のみなさん

こんにちはの線路の劣悪化は、国鉄再建を理由と
する5次にわたる施設の合理化⇨保守要員削減に
よって起るべくして起きたものである。われわれ
は、もはや一刻もこうした状態を許してはおけな
い。唯一の解決策は、「内房線の線路改善がはか
られるまで列車のスピードをダウンし、これ以上
線路を悪化させない」という闘いの貫徹のみであ
る。この立場を堅持し第二次反合・運転保安闘争
を長期強靱に闘い抜こう。

80旗びらきでの あいさつより(要旨)



三里塚・芝山連合空港反対同盟 北原敏治 事務局長

一九七九年は千葉動労と反対同盟がしっかりと
結合して闘ったすばらしい年だった。追いつめら
れた敵は不当な政治処分をかけてきたが、全国で
は、今、三里塚と千葉動労を支援する労働者・人
民の大きき闘いが起ってきている。三里塚廃港、
そして労働者の真の解放をかけて80年代を共に闘
っていこう。

石井武 実行役員

闘う者の避けて通れない道としての処分ししか
し処分・弾圧を受けながら、今日こんなにも元氣
でなごやかに旗びらきをやっていける姿を見てうれ
しい。売られたケンカは買わなきゃならない。買
ったケンカは絶対勝たなきゃならない。

木の根 小川源さん

千葉動労一四〇〇は鉄路を枕に最後まで闘う。
我々農民は土地を守る闘いとことん貫く。80年
代は厳しい年だと言われるが共に手をとって勝利
するまでガンバろう。

郡司とめ 婦人行動隊副隊長

一〇六名の政治的処分にめげず労働連帯
の正義を貫かれた千葉動労の皆さんに感謝する。
今日の盛大な旗びらきを共によろこびたい。今回
の処分には腹わたが煮えくり返るような思いだ。
80年を新たな闘志をもやし共に闘っていこう。